

今年度の連載テーマ

わたしの部活動 紹介します

～部活動と本の紹介～

各部活動の部員のおすすめ本やミニコラムを読んで、充実した「読書の秋」になると良いですね！

部活動「総合文化部(科学)」

科学部では、Excel や PowerPoint などを使用して収集したデータを整理し、他の人が理解できるようにまとめ、発表などを行っています。

<本の紹介>

「ニュートン式超図解最強に面白い!!人体と細胞」

田沼靖一／監修 ニュートンプレス

この本は多種多様な細胞や人体の仕組みについて、図やイラストなどを使用して、解説している本です。

“図解”ということで、「難しそう」「面白くなさそう」などと思う方もいると思いますが、4コマ漫画や用語の解説などがあるので、あまり興味がない人でも読めると思います。

また、文もわかりやすく専門的な用語も含まれているので、生物を選択した方にお勧めの一冊です。

(担当:1C)

著作権法上
書影削除

部活動「総合文化部(文芸)」

文芸部では、部員同士で様々な意見を出し合い、多様な視点を持つことで、さらなる素晴らしい作品の制作に向かっています。

<本の紹介>

『獣の奏者』 上橋菜穂子／著 講談社

獣ノ医術師の母と暮らす少女エリン。ある日その母が処刑され、孤児となった先で出会ったのは王獣という生き物。その生き物に魅了され、王獣の医術師になろうと決心するエリンだったが、そのことがやがて、エリンを王国の運命を左右する立場に立たせることに……。この本は、エリンの生き様が鮮明に色濃く描き出されています。

エリンの力強い心。自然や動物との向き合い方、その世界の宿命。美しく、壮大なその世界観に圧倒される作品です。

(担当:3F)

著作権法上
書影削除

部活動「無所属」

<ミニコラム>

二年生の一月頃から受験勉強を始めてきて、最近までは特段苦痛にも思っていなかったのだが、先日から広辞苑を読み始めて、如何に勉強に束縛されているかを知ることになった。しかし、それと同時に1, 2年生の頃の自分が如何に自由を保障されていたかも知ることとなった。

私は読書によって知識を身につけてやろうという気概を持って図書館に足繫く通っていた訳ではなく、単に小説を読んでひとりほそえんでいたような人間だったが、受験真ただ中の今、広辞苑等の読後何かを得られるような読書をしたいと思ってしまっている。しかし時間がない。世間では「高校生活＝青春」と公理のように示されているが、高校生特有の活気を思う存分知的探求に充てるような高校生活があってもいいと私は思う。

(担当:3D)

#わたしの推し本 図書委員

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス／著 早川書房

この本は主人公の視点による一人称視点で日記のように書かれています。本作のあらすじとしては、知的障害者のチャーリー(32歳の心の優しい青年)が手術によってIQが徐々に上昇し天才になっていくのですが、その一方で友達だと思っていた仕事仲間からいじめを受けていたことを理解するなどの過酷な現実や孤独にも直面します。

この本の魅力は、短編集で構成されており、一つ一つの物語が孤立しているため普段小説を読んでいない人でも読みやすくなっています。最初は誤字だらけで読みにくいですが、徐々に文章が読みやすくなっていく点が主人公の成長を感じられます。

また、心理描写がリアルなため主人公の成長や苦悩を感じることができます。『アルジャーノンに花束を』は知能と感情、人間関係、道徳的な問いについて考えさせられるため、何回読んでも泣けます。是非、一読してみてください。

(担当:2C)

著作権法上
書影削除

図書委員会「古本市」報告

桔梗祭で行った古本市では、2日間で128冊(6,750円)の売上となりました。

売上金は、公益社団法人全国学校図書館協議会に全額寄附し、学校図書館の施設・設備等の充実に役立てられます。

古本をご提供いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

